

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課： _____
担当課長名： _____

事業名 一般国道283号 上郷道路 <small>かみごうどうろ</small>	事業区分 一般国道	事業主体 岩手県
起終点 自 岩手県遠野市上郷町平倉 至 岩手県遠野市青笹町青笹		延長 6.7km
事業概要 一般国道283号は、岩手県釜石市を起点とし、遠野市を經由し、花巻市に至る総延長88.5km路線である。上郷道路は幅員狭小・線形不良の隘路を解消し、踏切を回避することを目的とした延長6.7kmの2車線道路である。なお、H18年度に供用を予定する仙人峠道路の接続道路としても整備を進めている。		
H8年度事業化	都市計画決定なし	H9年度用地着手
H10年度工事着手		
全体事業費	約49億円	事業進捗率 75%
計画交通量	5,100~10,300台/日	供用済延長 0.4km
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.9 (残事業) 6.3	総費用 (残事業)/(事業全体) 32/69億円 事業費：12/49億円 維持管理費：20/20億円
	総便益 (残事業)/(事業全体) 120/120億円 走行時間短縮便益：113/113億円 走行費用減少便益：7/7億円 交通事故減少便益：0/0億円	基準年 平成17年
感度分析の結果	交通量変動 B/C=2.1 (交通量+10%) 事業量変動 B/C=2.0 (事業費-10%)	B/C=1.8 (交通量-10%) B/C=1.8 (事業費+10%)
事業の効果等 ・物流効率化の支援（釜石港へのアクセス向上） ・他のプロジェクトとの関係（仙人峠道路と連絡） 他14項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 隣接する仙人峠道路の整備と併せて、岩手県市議会議長会より国道283号の整備促進が釜石市の提出により要望されている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 特になし		
事業の進捗状況、残事業の内容等 老朽橋であった赤川橋の架け替えを行い、その前後区間を含め0.4kmを供用している。残る区間については仙人道路のアクセスとなるバイパス部のH18年度部分供用を予定している。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 バイパス部は仙人道路供用に合わせH18部分供用を行い、今後も事業費の集中的な投資を図り、現道拡幅区間の整備を進めていく。		
施設の構造や工法の変更等 函渠工では他事業の仮設工で使用したボックスカルバートを転用し、コスト縮減及び建設廃棄物の発生抑制に努めている。		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	
事業概要図	<p>上郷道路 L=67km (起) 遠野市上郷町平倉 (終) 遠野市青笹町青笹</p> <p>H18供用予定(2/2) L=4.4km H13.3供用済(2/2) L=0.4km</p> <p>第一番街踏切 新刀倉橋 赤川跨線橋 早瀬川 青笹駅 至花巻市</p> <p>赤羽根トンネル 仙人道路 釜石市 J R釜石線 赤川橋 L=68.8m 関口橋 L=16m 中沢川 河内川</p> <p>至大船渡市 住田町 至釜石市 T9=9548台/日</p> <p>凡例 供用中 再評価箇所 うち供用済み</p>	

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。